

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 放射線科 宮沢亮

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 宮沢亮

低線量胸部 CT 検査の受診者の方を対象とした

偶発的縦隔腫瘍の検出頻度に関する研究

1.研究の対象

当院附属予防医療センターにて平成 23 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の期間に健診胸部 CT を受けられた受診者

2.研究の目的・方法

予防医学の発展とともに低線量 CT 検査が本国をはじめ世界で広まってきています。低線量 CT 検査では肺にできた結節を検出することを主たる目的としていますが、偶発的に縦隔をはじめ、他領域に異常を認めることがあります。他領域の異常は、その頻度やどのような病変が多くみられるのかについてはまとまった報告が少ないのが現状です。そこで、私たちは無症状での縦隔腫瘍がどのくらいの頻度で検出されているのかを検討する研究を企画しました。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～西暦 2018 年 3 月 31 日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

縦隔腫瘍指摘の有無、病理診断情報および年齢、性別、喫煙歴などの受診者背景因子。